

令和5年12月5日

養父市議会議長 西 田 雄 一 様

生活環境常任委員会
委員長 淨 慶 耕 造

生活環境常任委員会調査報告書

閉会中において、本委員会の所管事務につき調査したことを次のとおり報告する。

記

- 1 調査年月日 令和5年10月26日(木)、27日(金)
- 2 調査事項 「農村山間地域における男女共同参画社会の実現と「女性活躍」が地域の持続に与える影響について」及び「石見銀山の観光産業化への道筋について」
- 3 調査内容
島根県大田市における上記の事項について調査を行った。
別紙添付(委員派遣報告書)

<まとめ>

人間が生きやすいヒューマンスケールのまちは、でこぼこだったり、曲がったり、多様な形で、多様な人々が混在するところだ。民間主導の大森町のまちづくりは共生社会の一つのモデルである。

大田市の観光政策は住民への尊敬が感じられ、節度ある観光経済を目指している。市の基本理念は、「暮らしとの調和と、観光を通じた人々との交流により、生活文化をよりよく発展させる」、「住民が豊かに幸せに暮らし続けるための地域経済の活性化を目指す」としている。

一度だけ訪問する観光地ではなく、多くの人々が繰り返し訪れ、地域の人と交流し、体験を通じて得られる満足感を与えることのできる観光地を目指している。旅行者のテーマが「心の充足」に変わっていることを、しっかり見つめている。